

聖徳大学 研究所リレー講演会

聖徳大学言語文化研究所、児童学研究所、生涯学習研究所、心理教育相談所の所長が「いま、いちばん伝えたいメッセージ」を皆様にお届けいたします。

子どもの甲状腺がん

日時

9月15日(土)
13:00~14:30



講師:松浦 信夫
(聖徳大学児童学研究所長)

犯罪の心理

— その時、何が人のこころを動かすのか —

日時

10月13日(土)
13:00~14:30



講師:末永 清
(聖徳大学心理教育相談所長)

千の風に誘われて 街・旅・仕事・生きがいがづくり

日時

11月10日(土)
13:00~14:30



講師:福留 強
(聖徳大学生涯学習研究所長)

“ことば”を通して知る 日本の文化史 花の名前

日時

12月8日(土)
13:00~14:30



講師:林 史典
(聖徳大学言語文化研究所長)

会場 聖徳大学生涯学習社会貢献センター(聖徳大学10号館)
千葉県松戸市松戸1169 JR常磐線・新京成線「松戸駅」下車、東口徒歩1分

定員 70名(事前申込不要)

主催 聖徳大学言語文化研究所 聖徳大学児童学研究所
聖徳大学生涯学習研究所 聖徳大学心理教育相談所

後援 松戸市教育委員会・市川市教育委員会・柏市教育委員会・取手市教育委員会

参加費 ▶ 無料

研究所リレー講演会は、各回完結した内容となっております。

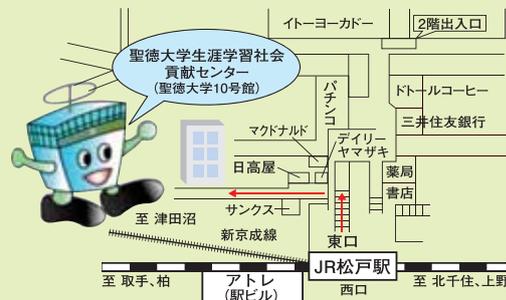
お問い合わせ >>>

聖徳大学知財戦略課

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550

TEL.047-365-1111 (大代)

ホームページアドレス <http://www.seitoku.ac.jp/kenkyujyo/gengo/>



聖徳大学 研究所リレー講演会
講演内容・講師紹介

9月15日(土) 子どもの甲状腺がん

長い小児内分泌疾患の診療で、子どもの甲状腺がんを経験してきました。甲状腺がんは、ヨードの摂取量、年齢、性別で発症が異なります。チェルノブイリ原発事故から30年あまりが過ぎた今、客観的に福島原発事故と比較します。

松浦 信夫 (聖徳大学児童学研究所長)

北海道大学大学院医学研究科修了。小児科医。北海道大学助教授、北里大学教授を経て、2004年聖徳大学に着任。専門分野は小児科学。小児の内分泌疾患や糖尿病に関する診療、研究に従事している。

10月13日(土) 犯罪の心理 - その時、何が人のこころを動かすのか -

人はなぜ法を犯すのか考えたことはありますか？ その時、何が人のこころを動かしているのでしょうか？ 犯罪や非行を犯す人の性格の特徴や、子どもが突然事件を起こす心理状態について、少年院や刑務所のカウンセリングでの経験をもとに考えてみたいと思います。

末永 清 (聖徳大学心理教育相談所長)

東京学芸大学教育心理学科卒。少年鑑別所長、広島国際大学教授などを経て、2006年聖徳大学に着任。専門分野は犯罪心理学。青少年の規範意識と非行に関する研究などを進めている。2010年瑞宝中綬章を受章した。

11月10日(土) 千の風に誘われて 街・旅・仕事・生きがいづくり

小さな街の試み、小さな団地の挑戦、ささやかに生きる人々の力強さ。日本全国1,000を超えるまちを訪ね、そこにはさまざまな人生のドラマを演じる人々がいました。まちづくりに関わった半生の中から、印象に残ったエピソードと、まちづくりのポイントをレポートします。

福留 強 (聖徳大学生涯学習研究所長)

専門分野は生涯学習。元文部省(現文部科学省)社会教育官。「子どもをほめよう研究会」、「創年のたまり場」などの運動を提唱。ユニークなまちづくりの仕掛人として知られ、内閣府地域活性化伝道師としても活躍中。

12月8日(土) “ことば”を通して知る日本の文化史 花の名前

“ことば”は、昔から事物を呼び分け、事柄を表し分けてきました。その一つひとつを調べると、それを使ってきた人々の生活や文化、外国からの影響、ひいては現在の様態が明らかになります。今回は、花の名前を取り上げて、日本の“ことば”の歴史に触れてみます。

林 史典 (聖徳大学言語文化研究所長)

東京教育大学大学院修了。筑波大学教授、筑波大学副学長などを経て、2006年聖徳大学に着任(現在、人文学部長)。専門分野は日本語学。2010年文化審議会国語分科会長として「常用漢字表」の改定案をまとめた。